

光部品生産技術部会 講演要旨

(デジタル・イメージング技術部会との合同講演会)

開催日：2016年4月11日(月) <2016-1 ①>

テーマ：「赤外線イメージセンサの自動車安全補助装置への応用」

講演者：木股雅章氏(立命館大学 理工学部 機械工学科 教授)

赤外線イメージングは、室温付近の温度を持った物体が放射する赤外線を画像としてセンシングする技術で、照明光なし(真っ暗闇)で周囲環境温度より高温の人や動物などを検知することができる技術です。赤外線イメージングに用いられる非冷却赤外線イメージセンサは、高性能化が進展と並行して低コスト化が進んでおり、身近な応用への適用が期待されています。NVS(Night Vision System)と呼ばれる自動車の夜間視覚補助装置もそうした応用の一つで、事故の多い夜間の安全運転に役立つものです。車載NVS用は価格の制約があり、これまでは高級車への搭載に限られていましたが、最近の急速な価格低下の進行にともない中級車への搭載の可能性も見えてきました。講演では、上記車載NVSの基礎に加え、車載NVSのビジネス動向、赤外線カメラの低価格化のキー技術などを紹介しました。

